

# 陽だまりの通信

市民福祉活動団体

「陽だまり」事務局

東広島市高美ヶ丘八二一三六  
(〇八二四)三九一一七七八

陽だまりスタッフ

募集しています。

事務局06-821-3911

## とりあげられた 地域福祉講座

### 福祉とは何か?

「陽だまり」の立場から  
東広島市教育委員会が  
委託された生涯学習の  
「市民のための地域福祉  
講座」の第一回目が6月  
23日、市民文化センタ  
で開かれた。主催したの  
は市民福祉団体「陽だま  
り」(西岡好子代表)。

「陽だまり」の立場から見た地  
域福祉をテーマにした  
シンポジウムには市民約  
20人が参加。昨年10月に  
発行した民間の福祉団体  
活動の柱にしている。

「福祉とは何か」とい  
うそれは幸せになっ  
てもらうこと。真心を込め  
て接すればお年よりは元  
気になる。活動するわ  
れわれにとっても大きな  
原動力となる」と西岡代  
表は話していた。

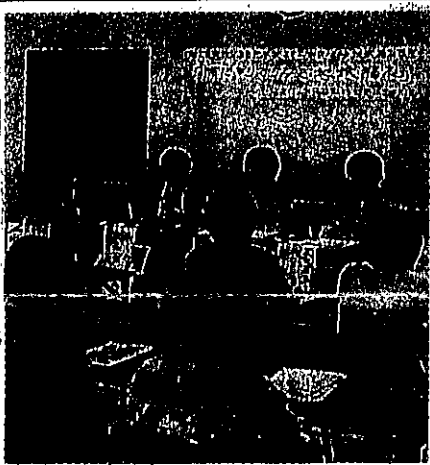
カット  
市川昇(12)



去る七月十七日、第二  
回目の陽だまり主催の  
「市民のための地域福祉  
講座」が開催された。二  
十二名の参加があった。  
当日は高屋歯科クリニッ  
クの歯科医藤中千恵美さ  
んをお招きし、「802  
0をめざして」をテーマ  
にしたの講義であった。  
前半では、虫歯と歯槽  
膿漏について説明を受け  
80歳で20本の歯を残  
すには、日ごろからか  
り付けの歯科医をもって  
歯のメンテナンス予防  
に心がけことが大切で

ある。とのことである。  
後半は、受講者の中から  
数名の被験者を選び、体  
験学習を行った。  
口の中の左半分に麻酔  
薬を塗ることで麻痺した  
体験をしたり、舌を使わ  
ずに、あるいは唇を閉じ  
ない状態でプリンやヨー  
グルトを食べることがい  
かに難しいかを体験する  
ことで、嚥下困難や障害  
のあるお年寄りの立場に  
たつての食事の困難さを  
深くイメージすることが  
できた。  
最後に、歯科医療の先

進国であるスウェーデン  
の報告があり、この日の  
講座が終了した。  
スライドやフィルムを  
使ったの講義、講師の気  
さくでわかりやすい説明  
のため、受講者には好評  
であった。改めて歯の大  
切さを再認識し、歯一本  
を自分で守っていくこと  
という決意を秘めながら会  
場を後にしたことであ  
った。



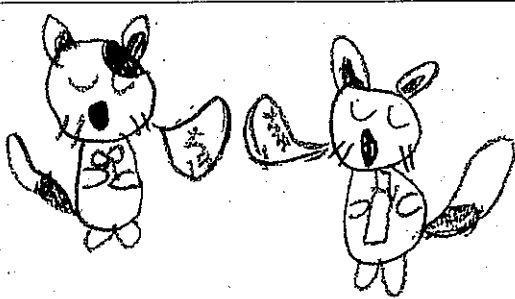
20人が参加したシンポジウム

6月30日 プレスネット

- 市民のための地域福祉講座のご案内
- 8月26日(日) 10時~11時30分  
「心を開く話し方」  
講師 廣瀬吉夫氏  
市民文化センター研修室2
  - 9月29日(土) 10時~11時30分  
「ペットまわり、トイレのお世話」  
講師 二川尚美氏  
総合福祉センター
  - 10月20日(土) 10時~11時30分  
「地域福祉の課題とまとめ」  
講師 三好一史氏  
東広島中央公民館

### △△△場の亦及用

「市民のための地域福祉講座」の第5回「地域福祉の課題とまとめ」(10月20日)の会場が、市民文化センターから中央公民館会議室Iに変更になった。



### 秋刀魚焼く匂いの底へ日は落ちぬ 加藤しゅうそん

今日台風の日である。幸いしてここ西条の地には台風もほんのあいさつ程度の通過であった。いよいよ秋の到来である。  
秋と言えば秋刀魚である。字が美しい。秋刀魚のかたちを思えばなるほどと思ってしまう。次第に日が短くなって陽が落ちるのが早い。夕陽の落ちる様はまるでつるべを井戸に落とすほどの速さである。釣籠落としという。若い人にはわからない風情である。



高石

財政が逼迫してくると  
予算を立てる段になって  
どこをどの程度節約して  
いくかということが当然  
のことながら問題となっ  
てくるものだ。▲それは  
家庭にあっても、国にあ  
っても同様である。国と  
いえばかつてアメリカの  
大統領のレーガンは強い  
アメリカの再来を期して  
福祉等の予算を削減して  
軍事予算の編成にはしっ  
たことがあった。▲いわ  
ゆる弱者といわれる部分  
をターゲットにしていく  
という為政者の発想はい  
つの時代にも、いずれの  
国においても同様である  
▲戦争になればこの発想  
は歴然としてくる。いわ  
ゆるお国のためにならな  
いものは切り捨てていく  
だから戦争は困る。もし  
戦争になれば本来高齢者  
を支える若者達は戦場に  
駆り立てられるのである  
▲ところで、金のつかい  
かたには、どこに重点を  
おくかという哲学のよう  
なものがある。人それぞ  
れの、あるいは土地柄に  
までもあらわれるからお  
もしろい。例えば京の着  
倒れ、大阪の食い倒れと  
はよくいったものである。  
▲小泉さん、構造改革と  
やらを実行するにあたっ  
てこのあたりをどうする  
らしくおねがいますよ。

〇吉

### 事務局だより

#### 《活動状況》

新年度に入ってから早いもので五か月が過ぎようとしている。七月三十一日現在の総利用時間数は一〇四六時間、一ヶ月平均で二六一・五時間となり、これまでのところ陽だまりとして順調に活動している。会員も九八名となった。

七月に限って見てみると実際にサービスを利用した会員は二五名、これに対してサービスを提供した会員は一七名であり、なかでも通院介助が急増しているのが特徴である。

キャンセルについて  
 これまで、活動に対するトラブルはほとんどなかったが、残念なことに事前の連絡なしに突然利用をキャンセルするという事例が何件もあった。サービスを提供する会員は時間とガソリン代を使って約束の時間に、約束の場所に行く。キャンセルされる方にも何かと都合はあると思うが、遅

### 福祉関係の本の紹介

#### 「介護」の発想転換

木原孝久著  
 福祉に実際にかかわる人々を中心に、本当はなにが必要で、どんな手法で行うべきかを語る。発想の切りかえには最適。  
 A4判 14頁 本体 500円

(簡井書房)

#### 宅老所「よりあい」の挑戦

一住みなれた街のもうひとつの家—  
 井上美晴・賀戸一郎著  
 「通って・泊って・住み込める」場があればほめても普通の生活を続けられる。宅老所の必要性を考察し、紹介する。  
 四六判 280頁 本体 1800円

(ミネルヴァ書房) ISBN4-623-02773-2

#### ボランティアの手びき III

—親の子育て・地域の子育て—  
 新谷弘子編著  
 子どもの遊びが失われてきている現在、親だけでなく子どもを育てる地域社会の教育力をとりもどすための具体的な方法を平易に展開。  
 四六判 216頁 本体 1600円

(ドメス出版) ISBN4-8107-0196-4

### 会員の広場

#### 退職後の生きがい

長年勤めていた職場を退職し、これから何か私に出来ることはあるかと思いついた。といっても経験のない私に不安と期待で心を揺るがせた。やれば出来ると思いつくこともあった。何とか頑張ることにした。何とか頑張ることにした。何とか頑張ることにした。

#### 張り、ヘルパー三級、二級の資格も取った。そのときあるキッカケで「陽だまりの会」との出会いがあり、早やも十ヶ月が過ぎた。その間、老人の介護、家事援助といったぐあいでは何とかこなしていた。しかし、その都度とまどうばかりであるが、今まで学習してきたことを思いおこしながら

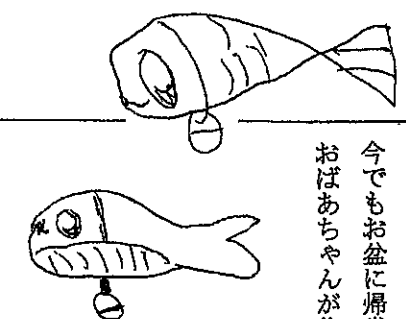
#### 編集後記

(北島幸子)

### なつかしい！懐かしい！しば餅づくり

#### 陽だまり恒例の交流会開かれる

去る六月二十日、杵原下集会所で、今年になって二回目の交流会を開催した。内容は、昔なつかしいしば餅づくりであった。柏餅とか、かたら餅といわれ、昔は田植えの終わったあとなどに、各家庭でよく作られていた。今でもお盆に帰省するとおばあちゃんが作ってく



カッパ 佐々木 瑞希(小2)

る定番のお餅である。当日は、前日まで降っていた雨もあがり、二五名の参加者があった。その中には電動椅子で生活されている方の姿もあった。ガイドヘルパーさんと一緒に三十分かけて来てくださったのである。また西条地区からも参加して頂き、にぎやかに楽しく餅づくりをした。皆、腕に覚えのある人達ばかりなので、粉のこね方、あんの包み方、蒸し方と、どれもスムーズにできた。汗を流して作った後で食べる餅は、格

